

## ～新たなまちづくりに向けて～

地域まちづくりの契機になることを目的に開催している「地域まちづくりセミナー」。平成12年度は、東山区を対象に、計5回のセミナーを開催してきました。7学区約50名の地域の方々の参加を得、様々なまちづくりの事例からまちづくりの意義や方法を学ぶとともに、ボランティアで参加した専門家や市職員とともに学区ごとのグループに分かれ、自分たちのまちの魅力や課題などを場所、人、活動等の様々な視点から振り返り、「誇りを持ち、安心して生き生きと住み続けられるために」まちの資源を活かしてどのようなことが実践できるか、議論してきました。最終回には、これまで議論してきた内容を学区ごとに発表し、今後のまちづくりについて参加者全員で考えました。

今回は、最終回のセミナーで各学区から発表された内容を簡単に紹介します。



まとめの作業の様子

### 有済学区 (ゆうさいがっく)

有済小学校の生徒数は50名弱と非常に少ないが、地域ぐるみですばらしい学校、すばらしいまちをつくることで、有済小学校に通いたい、このまちに住みたいと思ってもらえるようなまちづくり活動を行っていききたい。

### 六原学区 (ろくはらがっく)

5年後、10年後、20年後もこのまちに住んでいて良かったなと思えるようなまちづくりをしたい。そして、地域のふれあいの中で子供たちにも地域の魅力を伝えていけるようなまちづくりをしたい。

### 清水学区 (きよみずがっく)

清水学区にはまちのことを考える様々な組織が既にある。そういった組織のネットワーク化を図り、組織の枠を超えて、商業という視点だけではなく様々な視点から地域づくりに取り組んでいきたい。

### 貞教学区 (ていきょうがっく)

自分たちのまちのことは知っているようで知らないことがたくさんある。まちの資源を発掘し、より多くの人と共有してまちの資源を活かしたまちづくりを進めていくことが大切だと思う。その第1弾として、まちの再発見を目的とした「宝のまち貞教マップ」を作成してみたい。



各学区でまとめられた成果の一例

### 修道学区 (しゅうどうがっく)

観光ということだけに目を向けるのではなく、住民にスポットを当て、様々なまちの資源を活かしたまちづくりを、小学校が統合される貞教学区とともに行いたい。そのためには、これまでに行ってきたふれあい祭りのようなソフト面の活動というのは非常に大切。

### 一橋学区 (いっきょうがっく)

まちづくりは、人づくりがスタート。人との出会いを大切に、声を掛け合えるまちにしていきたい。そして、このセミナーで学んだことをこの場だけで終わらせるのではなく、地域の方々にも広げていきたい。

### 月輪学区 (つきわがっく)

月輪学区の散歩コースの設定や、東福寺もみじ祭りにあわせた全学区あがりのイベントの開催、月輪学区の様々な人を講師に講演会を開催するなど、まちの資源を活かした様々な活動ができるのではないかと。そして、それを夢としてとどめるのではなく、現実になるように努力したい。



発表会

このように、学区ごとに地域の魅力を再発見し、地域の実情にあった様々な議論が展開されました。このセミナーを通じて、他学区の人、立場の違う人など様々な人々との新たな交流が生まれました。そして、セミナー終了後、「まちを再認識する勉強会を開いた地域」、「まちの再発見を目的とした、まち歩きを企画している地域」など、新たなまちづくりが始まっています。